

平成 23 年度第 4 回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

【開催概要】

開催日時：平成 24 年 1 月 17 日（火）13 時 30 分～16 時 15 分

開催場所：長野市職員会館 3 階 大会議室

【次第】

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 環境部長あいさつ
- 4 正副会長選出
- 5 事務局自己紹介
- 6 議 事
 - (1) 報告事項
 - ア 長野市の環境行政について
 - イ ごみ処理の概要について
 - ウ し尿処理の概要について
 - エ 長野市災害廃棄物処理計画（案）について
 - (2) 今後の審議会の開催予定について
- 7 その他
- 8 閉 会

【会議資料】

- ・長野市廃棄物減量等推進審議会委員名簿
- ・資料 1 審議会に関する法律・条例・規則（抜粋）
- ・資料 2 長野市の環境行政について
- ・資料 3 長野市一般廃棄物処理基本計画
- ・資料 4 長野市一般廃棄物処理基本計画 概要版
- ・資料 5 平成 23 年度 長野市一般廃棄物処理実施計画
- ・資料 6 平成 23 年度 長野市ごみ処理概要
- ・資料 7 長野市清掃センター施設案内（パンフレット）
- ・資料 8 し尿処理・生活雑排水処理の概要について
- ・資料 9 合理化事業計画の概要について
- ・資料 10 長野市衛生センター施設案内（パンフレット）
- ・資料 11 長野市災害廃棄物処理計画（案）

【出席委員】 15 名

【欠席委員】 なし

【事務局】 15 名

【報道・傍聴者】 2 名（報道 1 名、傍聴者 1 名）

【会議内容(要旨)】

1 開 会

◇会議の成立と公開について報告（事務局）

2 委員紹介

◇委員の紹介（事務局）

3 環境部長あいさつ

新しい任期が始まり、本来であれば市長からご挨拶申し上げるべきところだが、本日、所用があるため、代わって挨拶を申し上げます。

日頃、長野市の幅広い行政、また、私どもが担当している環境分野にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

引き続き委嘱をお願いする委員さんが7名、新任委員さんが8名という構成になっており、昨年11月末から2年間の任期となるが、よろしく願いたい。

平成24年度から平成28年度までの5年間、第四次長野市総合計画の後期計画が始まる。また、環境行政を進めるにあたり長野市環境基本計画があるが、同じように今年度で最終年度を迎えるため、平成24年度から5年間の第二次長野市環境基本計画がスタートする。長野市の総合的な行政、また、環境全般について、2つの計画に基づいて、色々な部局と協力しながら、行政を進めていきたい。

平成23年4月からスタートした長野市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ処理やし尿処理に関しての施策を進めている。色々な課題があるため、審議会委員の皆様方にご意見を頂戴して進めていきたい。

長野市のごみ処理は、平成21年10月から家庭ごみの有料化制度をスタートさせ、皆様方にも1リットル当たり1円の料金をいただき、ごみ減量を有効にするためにご協力をいただき進めている。また、し尿処理については、水洗化が進みし尿収集量は減少しているが、適正なし尿収集処理の確保という大きな課題も抱えている。

本日は、全般的な状況について説明を申し上げ、今後の審議会のご審議に参考にしていただけると有り難い。（環境部長）

4 正副会長選出

（委員） 会長に富所先生をご推薦したい。富所先生は、信州大学水工学の名誉教授であられ、長野市環境審議会の会長や長野市広域ごみ処理施設建設及び管理運営計画策定委員会の委員長等を歴任され、会長に最適任と思われませんが、いかがでしょうか。

《拍手で賛同の意を表明》

（事務局） 皆さんの賛同をいただいたので、富所委員に会長をお願いしたい。
続きまして、副会長の選出はいかがか。

（委員） 前任期で副会長をしていただいた清水先生をお願いしたい。家庭ごみ有料化制度の導入や一般廃棄物処理基本計画の策定等にご尽力いただいたので、是非お願いしたい。

《拍手で賛同の意を表明》

（事務局） 全員の賛同をいただきましたので、清水委員に副会長をお願いしたい。

（会長） 廃棄物関係は非常に幅広く、私で務まるか分かりませんが、留任された7名の委員さんにご指導いただき、新任委員皆さんの色々な経験を活かした意見を出していただき、精一杯務めます。

現在、大豆島の東風間区の副区長をやっており、来年は区長を務めます。松岡地区で焼却場の計画があるが、地区の方で携わっていた。本審議会では触れないということでしたので、予め皆さんにも承知していただきたい。

2年前まで地区の環境美化の会長をやっており、現在は安全防災部会の担当をしているが、環境関係に興味を持っており、色々情報を収集していたので、当審議会に役立てばと思っている。よろしくお願ひしたい。

(副会長) 長い間、係らせていただき、年々当審議会やごみ減量の課題が重くなってきており、身が引き締まる思いです。皆様のお力を借りながら頑張るので、よろしくお願ひしたい。

5 事務局自己紹介

◇事務局職員による自己紹介（事務局）

6 議 事

(1) 報告事項

ア 長野市の環境行政について

◇資料2「長野市の環境行政について」により報告（事務局）

イ ごみ処理の概要について

◇資料3「長野市一般廃棄物処理基本計画」、資料4「長野市一般廃棄物処理基本計画 概要版」、資料5「平成23年度 長野市一般廃棄物処理実施計画」、資料6「平成23年度 長野市ごみ処理概要」および、資料7「長野市清掃センター施設案内（パンフレット）」により報告（事務局）

<以下、質疑応答>

(委員) 家庭ごみの有料化制度を導入しごみ量は減少したが、今年の計画を見るとこれ以上の減量は不安である。家庭系のごみを減量させるには、生ごみの減量が重要である。生ごみの水切りだけで重量は減るので、指針を打ち出さない限り目標達成は厳しいと思うが、推計値や目標値の算定方法を教えてほしい。

(事務局) 推計値を算出するに当たり、長野広域連合のごみ処理広域化基本計画の推計とすり合わせたりしたが、基本的には、有料化制度導入の平成21年度を除いた、平成17年度から平成22年度の実績と人口ベースに基づき、推計値を算出した。

目標達成のための取り組みとして、家庭ごみの推計値は81,393トン、目標値が74,674トンで、6,719トン、一人一日49グラムの減量が必要である。可燃ごみに含まれる生ごみの割合を現状より約15%削減し、28グラムの減量、生ごみ以外のごみを4%削減し、21グラム減量させ、計49グラム減量させる取り組みが必要です。

事業ごみの推計値は41,245トン、目標値が39,200トンで、2,045トンの減量が必要である。計画的な減量を促進し、毎年度1%ずつ削減します。

(委員) 長野県のリサイクル率は良く、取り組みに理解をしている人は協力的であり、生ごみも少ないと思う。既に生ごみを50グラム以上排出していない家庭にとって、更なる減量は厳しいのではないか。それを踏まえて、今後の施策を考えていかないと

いけないのではないかと。

(委員) 私は畑があるため、生ごみを可燃ごみとして排出したことはありません。でも、集合住宅にお住まいの方は、難しいかもしれません。

市では生ごみを燃やすことを止めるくらいの覚悟をしたらいかがか。農地を所有している方は、市の補助を活用してコンポストやぼかし容器を購入していただき、農地を所有していない方には、収集して堆肥化する体制を整えれば、生ごみを燃やすことは無くなるのではないかと。生ごみを堆肥化すれば可燃ごみも減り、焼却施設の費用も減ると思う。

(事務局) 熱意のあるご意見いただき、感謝申し上げます。本日はまだ議事をお願いする予定になっているため、ご意見をいただくという場にしていただくのと有り難い。

《休憩》

ウ し尿処理の概要について

◇資料3「長野市一般廃棄物処理基本計画」、資料4「長野市一般廃棄物処理基本計画 概要版」、資料8「し尿処理・生活雑排水処理の概要について」、資料9「合理化事業計画の概要について」および、資料10「長野市衛生センター施設案内(パンフレット)」により報告(事務局)

エ 長野市災害廃棄物処理計画(案)について

◇資料11「長野市災害廃棄物処理計画(案)」により報告(事務局)

<以下、質疑応答>

(委員) 合併により、し尿処理手数料の格差が激しく、旧長野の320円に近づけるため、若穂・豊野地区は料金を上げ、戸隠・鬼無里は料金を下げたが、問い合わせ等はあったか。

(事務局) 若穂地区は、須高行政事務組合に加入しており、そちらの料金に合わせた。豊野地区は、北信保健衛生施設組合に搬入しており、構成市町村に合わせた。そのため、両地区は値上がりした。戸隠・鬼無里については、合併前の料金が高かったため、原価計算により下がった。

手数料はまだ均一ではありませんが、事業者・市民から意見はありません。

(委員) 平成24年度の環境部の予算をお聞きしたい。

また、集団資源回収報奨金の交付金が減っている原因は何か。

(事務局) 来年度予算については、明日、市長査定を行います。自然環境保護から公害対策、ごみ処理やし尿処理等、非常に幅広くあります。まだ公表になっていませんので、本日、申し上げられないのはお許しいただきたい。

集団資源回収報奨金については、現在、1キロ6円です。逆有償分を補填する制度であり、資源物の排出機会の増加を図っています。必要な予算はきちんと付けて、取り組んでいきたい。

(委員) なぜごみを減量しなくてはいけないのか、市民に分かりやすく、また、具体的な形で提案してほしい。キャッチコピーを決め取り組んでいくことも、一つの方法だ

と思います。

- (事務局) 市民の皆様の理解がなければ、資源化、あるいは循環型社会は実現しませんので、分かりやすく説明できるよう努めていく。
- (委員) 小学校4年生の社会見学で清掃センターを見学しているが、年齢を下げて幼稚園の年長さんを対象としていただきたい。親が忙しい時には、子供たちが分別できる状態にすることが大事ではないかと思う。
- (事務局) 環境学習は、環境政策課が行なっていますが、連携をとりながら進めさせていただく。また、段ボール講座については、保育園へ行き、保護者の方と一緒に進んでいます。
- (委員) 第二次長野市環境基本計画の指標・目標値にある家庭系可燃ごみに占める生ごみの割合で、現状値が46.2%だが、目標値が50.0%になっている。一方で、一般廃棄物処理基本計画では、現状が46.4%で、目標値が39.4%になっている。割合が小さい方が良いと思うが、環境基本計画は大きくなり、一般廃棄物基本計画は小さくなっているが、この整合性について説明をお願いしたい。
- (事務局) 可燃ごみに占める生ごみの割合は、小さい値の方が良いです。環境基本計画では、平成22年度の単年度の結果であり、平成28年度の目標に達成したということになる。
- (委員) 有料化でごみが減ることは非常によく分かるが、一方で市が儲かっているのではないという見方をする人がいる。ごみ処理手数料は、回り回って市民のためになっていることを示していただきたい。
- (委員) 本日の分厚い資料を短時間に理解することは、ほぼ不可能である。もっと見える化し、分かり易く、一般市民が見ても分かるような資料に整理していただきたい。
- 事務局が全員男性というのが気になった。ごみが出るのは台所からだったりするので、携わっていない人達が施策の実行に関わっているのは半端だと思う。半分ぐらい女性職員が居た方が良いと思う。
- ごみの問題は、もっとダイナミックな構想で考えていかないと解決しないと思う。大きな構想の中で、ごみという言い方を止める。子供たちに、自分が出した生ごみを堆肥化させ、休耕地で野菜を育てる。生ごみが野菜に戻るという循環を教えるなら、ごみと言っているのは駄目だと思う。ごみを減らしていくというより、循環させる仕組みを作ることではないかと思った。
- (会長) 災害廃棄物処理計画(案)について、「水害による浸水想定区域は、おおむね100年に1回程度発生する」と書いてあるが、川によって異なる。千曲川の場合、氾濫したら一番被害が出ると思うが、100年に1回というのは夢物語であり、絶対実現できないと思う。川によって異なるため、この文面は入れない方が良いと思う。
- (会長) 以上で本日予定しておりました議事は終了します。時間が延長しましたが、議事の運営に協力いただき感謝申し上げます。

(2) 今後の審議会の開催予定について

○次回の第5回審議会は、3月21日(水)を予定したい。審議内容は「平成24年度のごみ処理実施計画における具体的施策の実施計画(案)」および「長野市災害廃棄物処理計画(案)」を予定している。(事務局)

7 その他

○新任委員さんに、「報酬振込み申請書」の提出をお願いしてあるので、会議終了後、提出していただきたい。審議会の委員報酬は、日額 7,000 円となっている。なお、支払いにあたっては、所得税法の規定により定められた所得税額 790 円を源泉徴収するので、実際の振込額は 6,210 円となる。(事務局)

○本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。
(事務局)

8 閉 会

(16 時 15 分閉会)